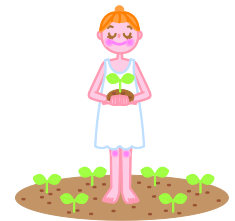


# Only one

～ 子どもの「生きる力」を育む家庭教育 ～



今年度のテーマは「こころ」です

2020年12月

発行：能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne  
Column

## 「思いやり」って 何だろう？

能代市社会教育指導員 工藤 克弥

今、まさに子育て真っ最中の皆さんには、お子さんがどのように育ってほしいかという、親としての願いや思いがあるかと思います。

私がこれまでの教員生活を通して、たくさんの保護者の皆さんと接してきた経験から、おそらく、最も多いのは「思いやりのある子ども」ではないだろうかと思います。

私も子育て時代には、わが子に対して、あんな子どもに、こんな子どもにと、あれこれ欲張りながらも、わが子が成長していく中で、思いやりの心を育むことは必須だと思っていました。

では、多くの皆さんが思い願う「思いやりのある子ども」とは、どのような子どもなのでしょう。さらに言えば、「思いやり」とは、どのようなものなのでしょう。

例えば、「相手の気持ちを考えられる(子)」、「困っている人に手を差し伸べられる(子)」、「親身になって相談にのってあげられる(子)」など、具体的な姿が思い浮かびます。

ここで見られるのは、相手の立場や状況を共感的にとらえて、前向きな気持ちで寄り添おうとする姿です。これまで、私もこのような数多くの能代っ子に出会ってきました。とてもうれしいことです！

さて、ここで、私がとらえる「思いやり」について述べてみます。やや抽象的な表現になってしまいましたが、「思いやり」とは、「相手の苦しみや不安、悲しみなどに寄り添い、そのことを共に分かち合おうとする」ことだと思います。いかがでしょうか？

誰かが悩み、あるいは、苦しんだり悲しんだりしているのを目にしたとき、その姿に心が動かされ、まずは、相手を真正面から受け止め、一緒に分かち合おうとする、その心こそが思いやりの本質なのではないでしょうか。なお、このことは相手の喜びに対しても同じことが言えますね。

そのような場面に立ったとき、自分が具体的に何ができるかは別の話であり、その次の問題です。大事なことは、まずは、相手の「今」を「丸ごと受け止める」ことだと思います。

場合によっては、すぐ、ひと言忠告したくなったり、相手のために、何かアクションを起こしたくなったりすることもあるでしょう。でも、目の前の相手は、まず、今の自分をしっかりと受け入れてほしいと願っているはず。あとのことは、一緒にゆっくり考えていけばよいことではないでしょうか。

「思いやりのある子ども」を育てる手立ては、様々なやり方があるかと思います。でも、私たち大人が、日々の生活の中で揺れ動く子どもたちの心を真正面から受け止め、「だいじょうぶだよ」「信頼しているよ」「私もうれしいな」などのサインやメッセージを送ることを大事にしていきたいものだと思います。

また、そのこと自体、子どもたちが「思いやり」というものの価値の尊さを、自分の体験を通して具体的に感得できる絶好の機会になるのではないかと思います。

そして、このことは、これから子どもたちが歩いていく人生の中で、他の人と、仲間と、そして社会と、共にかかわることができる、人間としての豊かな心と力を身につけるための土台になるものと確信しております。



## おすすめの1冊

能代市立能代図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。



### 10歳までに身につけたい 子どもが一生困らない片づけ・そうじのコツ

／著：山口 由紀子

在宅時間がさらに長くなるこの季節に、掃除や片付けについて親子で学んでみませんか。ほうきやトイレブラシの使い方など具体的な掃除のやり方などがイラストで分かりやすく書かれています。身の回りの整えることは、自己管理能力を育てます。楽しみながら、一生使える「コツ」を身に付けられる一冊です。



## データでみる家庭教育

子育てや家庭教育に関するデータをとりあげます。「今」がわかり、子育てのヒントになるかも？

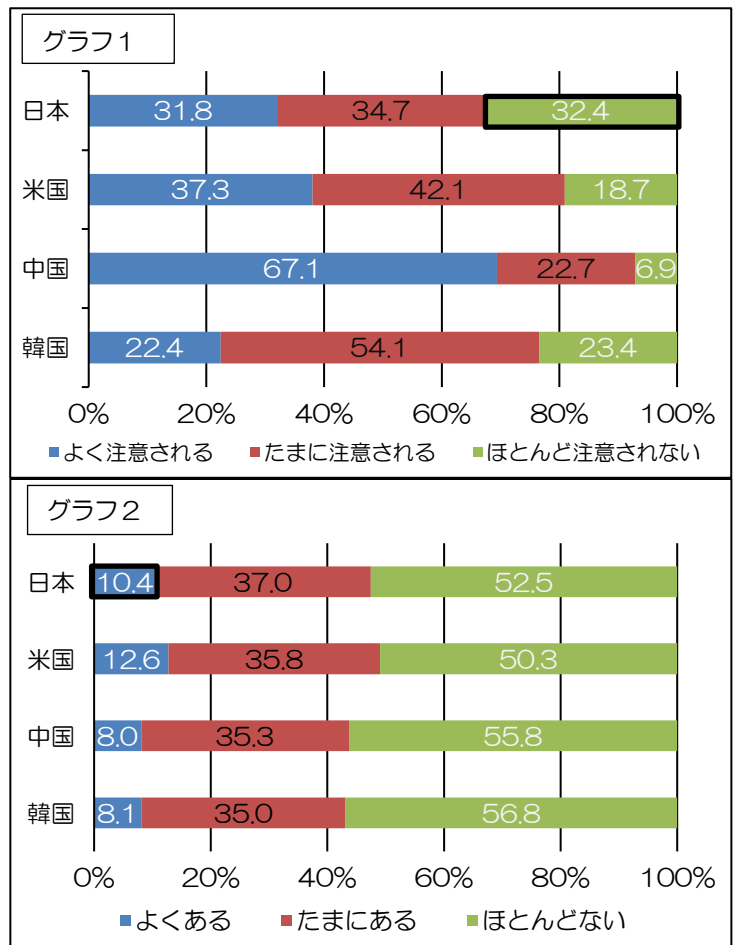
これは、日本・米国・中国・韓国の4か国の小学生を対象に行った、インターネット利用と親子関係についての意識調査です。

グラフ1は『インターネットの危険性や利用時のマナーなどについて、親から注意されているか』という質問の回答であり、日本の小学生は他国と比べ、「ほとんど注意されない」割合が最も高くなっています。

グラフ2は『親は携帯電話やスマートフォンを使用しながら私と話すことがあるか』という質問の回答ですが、「よくある」と答えた割合が米国に次いで高くなっています。また、日本では、前記質問において「よくある」とした人ほど『親と話すことが好きか、一緒にいるのが楽しいか』という質問に対し、「好きではない、楽しくない」との回答が多いという結果が出ています。

この調査結果を踏まえ、保護者の方は子どもが実際にどれほどインターネットを利用しているかを気にかけるとともに、家庭での過ごし方について、親子で一緒に話してみてもいいのではないでしょうか。子どもたちをネットトラブルから守るためには、保護者の見守りが大切です。

国立青少年教育振興機構『インターネット社会の親子関係に関する意識調査—日本・米国・中国・韓国の比較—』



### 困ったときには…

子育てで困ったときや、相談したいことがあるとき、下記の相談先へぜひご連絡ください。親身になってお答えいたします。

- 能代市子育て支援課 家庭児童相談 TEL89-2955  
月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分（祝日・年末年始除く）
- 能代市子育て支援課 めんchocoてらす TEL89-2948  
月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分（祝日・年末年始除く）
- 能代市子育て支援センター TEL 能代：52-8115/ニツ井：73-3111  
月曜日～土曜日 午前8時30分～午後5時（祝日・年末年始除く）
- 能代市教育相談（風の子電話）TEL89-1616  
月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時（祝日・年末年始を除く）

乳児は 肌を はなすな  
 幼児は 手を はなすな  
 少年は 目を はなすな  
 青年は 心を はなすな

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。  
 能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 生涯学習係 〒018-3192 能代市ニツ井町字上台1-1  
 TEL:0185-73-5285 / FAX:0185-73-6459 / E-mail:shou-supu@city.noshiro.lg.jp